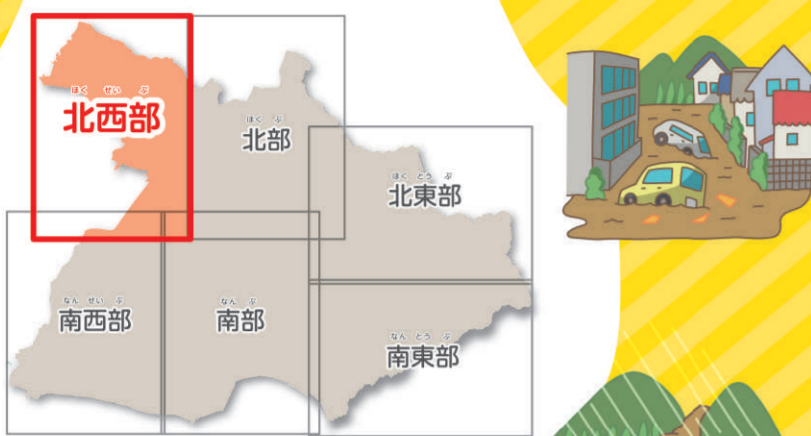


鎌倉市やさしいハザードマップ

発行：令和6年3月

北西部地区版

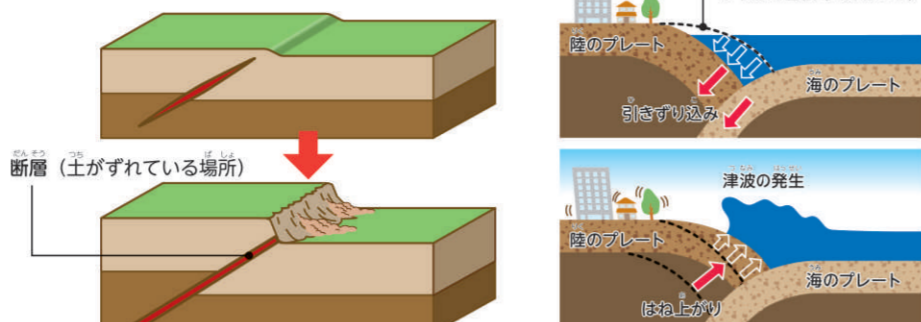


作成：鎌倉市市民防災部総合防災課

地震

地震はいつ起こるか分かりません。日本には地震の原因となる活断層やプレートの境界がたくさんあります。活断層とは地震が起きるかもしれない断層のことです。いつも備えが大切です。

●地震はなぜ起きるのか？



【内陸型】

内陸にある活断層(活断層とは地震が起きるかもしれない断層)とよばれる地面のざげ目が動いて起こる。プレート境界型に比べて、地震の規模は小さいですが、限られた地域に大きな揺れを引き起こすこともあります。

【プレート境界型】

海のプレートが陸のプレートの下へ沈み込むときに、陸のプレートも下へ引きずり込まれます。陸のプレートがその力に耐えきれず、元に戻ろうとする時に地震が発生します。巨大地震となることがあり、津波も発生します。

●地震が起きたらまず自分の身を守る

この3つの行動を「シェイクアウト」と呼んでいます。



出典：日本シェイクアウト推進会議

●もし大地震が起こったら



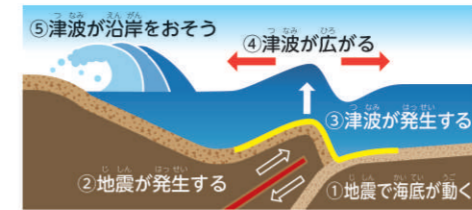
津波

津波はいつ起こるか分かりません。普段は高い所に住んでいる人も、海岸近くにいる時に津波に襲われるかもしれません。

海に囲まれた日本では津波はどこでも起こる可能性があります。津波のこわさをよく理解しておきましょう。

●津波はなぜ起きるのか？

地震で海の底が動いて、その上の海水をおし上げます。このおし上げられた水のかたまりが津波となって広がっていきます。



避難のポイント(津波)

高い場所へ避難する

海岸から「より速く」ではなく、「より高い」場所へ逃げましょう。海拔(陸や山の高さのこと、東京湾=0メートル)表示板や津波誘導標識を確認してより高いところを目指してください。

海岸や川には近づかない!

海岸はもちろん、津波は陸地よりも先に川をさかのぼりますので、できるだけ川に近づかず逃げましょう。

率先避難者になりましょう

率先避難とは「危ない時にまわりへ避難を呼びかけつつ、自ら先に逃げる」ことをいいます。率先避難者になることで、それを見ている周りの人が避難行動を取るきっかけになります。

避難したら戻らない

津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報・注意報が解除されるまでは、安全な避難場所から離れないようにしましょう。

●津波の標識

津波のおそれがある地域には、こんな標識があります。海の近くに行ったときは探してみよう。



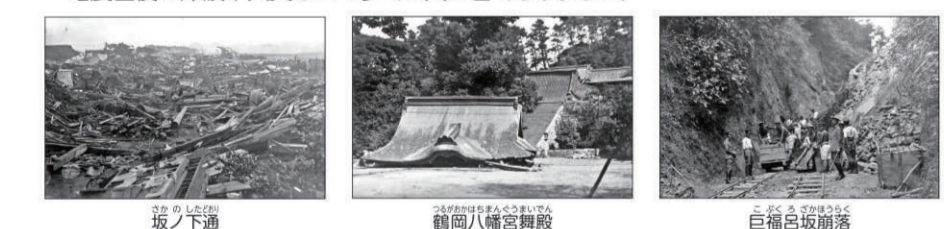
●津波から身を守るために



鎌倉市における過去の主な災害

●関東大震災

1923年(大正12年)9月1日、午前11時58分、相模湾北部を震源とするマグニチュード8クラスの、プレート境界地震が関東南部から東京方面を襲いました。地震直後の津波や火災などで多くの人が亡くなりました。



●令和元年台風第15号

台風第15号のとても強い風や大雨により、鎌倉市内では、木が倒れたり、がけが崩れたりし、停電も発生しました。鎌倉市として初めて自衛隊の支援(災害派遣)を受けました。

●自分の家の危険度

裏のハザードマップで、自分の家にどのような災害の危険があるか確認しましょう!

洪水浸水想定区域 入っている(約 m)・入っていない	津波浸水想定区域 入っている・入っていない
高潮浸水想定区域 入っている・入っていない	土砂災害警戒区域 入っている・入っていない

津波と高潮の浸水深は鎌倉市防災情報マップやハンドブックで確認出来ます。
<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/sougoubousai/hazardmap.html>

●災害時の連絡先

おうちの人と避難先を確認しながら、記入しましょう!

〈あつまる場所〉
〈逃げる場所〉
〈連絡方法〉

土砂災害

大雨などにより地盤がゆるむと、崖が崩れるなどの土砂災害が起こるおそれがあります。

●土砂災害の種類



がけ崩れ

地面の中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、地震や大雨の影響により斜面が突然崩れ落ちる現象です。崩れた土砂は斜面の高さの2倍も離れた距離まで届くことがあります。崩れるスピードが速いので、危険を感じたらすばやく逃げましょう。

土石流

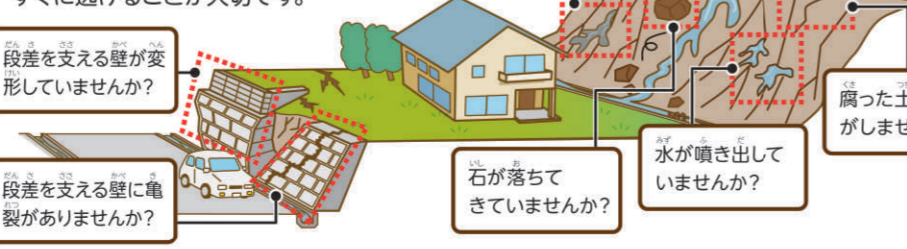
山麓や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨(集中して降るとてもげしい雨)などの大量の水と一緒に津波のように襲ってくる現象です。速さは時速20~40kmと自動車並みです。すさまじい勢いであつという間にあたりの樹木や家、畑・工作物をつぶして押し流してしまいます。

地すべり

山地の斜面をつくる岩石や土が、斜面の下の方へ移動する現象です。大雨の時に雪解けの時期に発生しやすくなります。一度に広い範囲で発生するため、住宅・道路・鉄道などに大きな被害を及ぼします。

●土砂災害の前ぶれ

土砂災害が発生する前には、いろいろな前ぶれが起こる時があります。こうした前ぶれに気づいたら、まわりの人にも伝え、すぐに逃げるのが大切です。



●もし土砂災害が起こったら



ハザードマップの使い方

- 自分の家を見つめよう**
自分の家に災害の危険がないか確認しましょう。
「ぼくの家はここだね」
- 逃げる場所を確認しましょう**
災害からの避難方法を確認しましょう。立ち退き避難が必要な場合を想定して、適切な避難先を確認し、大きく印をつけるなどして災害時に備えましょう。
「私たちの避難所はあそこね」
- 安全な避難する道を決めよう**
災害時には通れなくなってしまう道もあるので逃げる道を複数決めましょう。
「危険な所は避けていこう」
- 実際に逃げる道を歩いてみましょう**
家族やまわりの方と一緒に歩いて、危険な場所がある場合は、逃げる道を見直しましょう。
- 家族で災害時、どうするか話し合おう**
学校やご近所で、災害や避難について話し合い、情報を共有しましょう。お年寄りなど、避難に協力が必要と思われる方についても、みんなでできることを考え、できる範囲で協力しましょう。
- 学校やご近所で考えよう**
学校やご近所で、災害や避難について話し合い、情報を共有しましょう。お年寄りなど、避難に協力が必要と思われる方についても、みんなでできることを考え、できる範囲で協力しましょう。

洪水

近年、台風や集中豪雨(集中して降るとてもげしい雨)の発生する回数が増加しています。天気予報などで事前に天気を確認し、洪水に備えておきましょう。

●どうして雨が降るの？

暖かくなった空気が上空で冷やされ、水の粒になることで雲が発生します。高く積みあがった雲は「積乱雲」と呼ばれ、激しい雨をもたらします。

- ① 台風: 海水温が高い、南の海で発生します。台風が近づくと激しい雨や強い風が起きます。
- ② 集中豪雨: 短時間のうちに狭い地域に集中して降る大雨のことを集中豪雨といいます。

●水害について知ろう!

水害の種類

- 土砂災害**: 大雨などにより、がけがくずれたり、くずれた土砂が谷川の水と一緒になって流れてきます。
- 外水はらん**: 川の水位が上がり、てい防を乗り越えて、まちに川の水が流れこんでいきます。
- 内水はらん**: てい防がこわれ、まちに川の水が流れ込んでいきます。
- 高潮**: 海の高さが上がり、てい防をこえて、まちへ海の水が流れこんでいきます。

もし洪水が起こったら

災害から命を守るための情報

インターネットサイト

- 気象庁ホームページ: <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- 神奈川県土砂災害情報ポータル: <https://dosyasajgai.pref.kanagawa.jp/>
- 国土交通省 川の防災情報: <https://www.river.go.jp/>

メール

- 鎌倉市防災・安全情報メールサービス【登録必要】: <https://plus.sugumail.com/usr/kamakura/home> (PCスマートフォン) / <https://m.sugumail.com/m/kamakura/home> (フィーチャーフォン)

でんわ電話

- 鎌倉市防災行政用無線: 0467-43-4119

テレビ

- J:COM湘南・鎌倉: リモコンを押すと情報を確認できます。

ラジオ

- 鎌倉エフエム放送 (82.8MHz)

防災学習

- 総務省消防庁 「わたしの防災 サバイバル手帳」: <https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/activity/survival/>
- 文部科学省 地震調査研究推進本部 「地震キッズ探検隊」: <https://www.kids.jishin.go.jp/>
- 国土交通省 国土地理院 「地理教育の道具箱」: <https://www.gsi.go.jp/CHIRIKYOUIKU/index.html>